

平成22年度一般会計当初予算説明資料

8款 土木費

3項 河川海岸費

1目 河川総務費

河川課(内線:7374)

2目 河川改良費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
地域自立・活性化交付金事業(塩分導入実証試験)(河川課所管)	24,049	20,644	3,405	9,499			14,550	
地域自立・活性化交付金事業(湖山池、東郷池、斐伊川水系加茂川)(河川課所管)[一般公共事業]	425,000	220,000	205,000	178,050	<148,000> 222,000		24,950	県費負担 172,950
トータルコスト	472,900千円(前年度 264,699千円) [正職員:3.7人]							
主な業務内容	関係機関との調整、設計積算、契約の締結							
工程表の政策目標	湖山池の第2期塩分導入実証試験の実施及び水質浄化対策(湖内湖・浅場)の実施。 東郷池の水質浄化対策(覆砂)の実施。							

事業内容の説明

1 事業の目的・背景

湖内湖や浅場造成、覆砂やヘドロ浚渫により、汚濁物質の流入負荷の削減等や景観の改善、水質浄化を図り、良好な河川環境の確保に寄与する。

また、湖山池においては「汽水湖としての再生」と「豊かな生態系回復」を目的に、引き続き塩分導入実証試験を実施する。

2 事業の内容

1) 湖山池

○塩分導入実証試験 24,049千円

・湖山池の塩素イオン濃度等を観測しながら湖山水門の適切な操作を行い、池内の塩素イオン濃度を所定の値で管理する。

・湖山池を取水源としている砂丘畑(湖東大浜土地改良区)に代替農業用水を送水する。

○湖内湖、浅場造成 240,000千円

・流入河川からの汚濁物質を沈殿除去する「湖内湖」や、塩見川河川事業の発生土(砂)を利用した「浅場造成」に着手し、水質浄化を図る。

2) 東郷池 100,000千円

○水質浄化を図るため、水深3.5m以上の範囲に北条川放水路の残土(砂)による覆砂を実施

3) 斐伊川水系加茂川 85,000千円

○河口から米子コンベンションセンターまでのヘドロ浚渫を実施し、悪臭防止と景観改善を図る。

3 これまでの取組状況、改善点

○湖山池、東郷池水質管理計画の水質管理目標が未達成なことから、ヘドロ浚渫に替わる水質浄化対策を検討。琵琶湖や霞ヶ浦で水質浄化実績のある「湖内湖」及び河川事業の発生土(砂)を利用した「浅場造成」や「覆砂」を選定。

○斐伊川水系加茂川のヘドロ浚渫に地域自立・活性化交付金を活用。

(注) 起債欄の上段<>書きは、交付税措置額を除いた金額である。

県費負担は、起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算した額である。